

1. 事業の位置付け

事務事業名	保全樹等指定事業		
事業担当	まちづくり事業部 みどり公園・水辺課		
予算科目	01-080405-030000	事業種類	○ ハード      ● ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	01	①〈自然との共生〉四季を通じて豊かな恵みを与えてくれる自然と親しむ	
	01	1 自然を守るしくみづくりを進める	
根拠法令等	緑化の推進及び緑の保全に関する条例		
対象・受益者	対象樹木管理者	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
良好な樹木・樹林・生垣が保全されています。		良好な樹木・樹林・生垣を保全するため、保全樹などを指定し適正な維持管理を支援します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	保全樹木調査、募集回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			3	3	3			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	保全樹木の本数						単位	本
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			52	53	54			
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
市内に残された貴重な樹木等を保存するために、良好な樹木（49本）・樹林（8ヶ所）・生垣（6ヶ所）に対して奨励金を交付した。また、枯損の危険性がある樹木に対して、樹勢回復の施術を行うことにより、良好な樹木・樹林・生垣が保存された									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	緑豊かなまちづくりの実現のために、良好な樹木（62本）・樹林（9ヶ所）・生垣（6ヶ所）を保全していくことは、必要な事業である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	保全樹等の多くは老木・古木であるため、近年の厳しい環境変化により、樹勢の衰える傾向にあるため、継続して状態をみながら保全していくことが必要である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制（人員配置、業務分担） <input type="checkbox"/> その他	事業の目的を達成するために、所有者自身の管理も必要だが、樹木等を良好な状態に保つために、行政としても樹木医等の専門的知識を活用した、補助と支援が必要である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法（民活の余地、事業形態の検討） <input checked="" type="checkbox"/> その他	保全樹等の多くが老木・古木であり、年々樹勢が衰えるものもあるが、樹木医等を活用して、貴重な樹木等の保全に努める。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 保全樹等の多くが老木・古木であるため、樹木医等を活用して生育状況の調査と、良好な状態に保つための施術を施す必要がある。また、万が一の倒木等の対応も検討する必要がある。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				奨励交付金の支出、賠償責任保険の加入等	奨励交付金の支出、賠償責任保険の加入等	奨励交付金の支出、賠償責任保険の加入等		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	967	2,048	989	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	967	2,048	989	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	98.57				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.26	0.26	0.26	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	2,182	2,182	2,182	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	3,149	4,230	3,171	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 保全樹等の状態を把握するために、樹木医による調査を行う。また、枯損、倒木による被害を避けるための支援を行う。	
平成21年度の実行方針	
保全樹等を指定し補助するだけでなく、長く良好な樹木として保存するために、樹木医を活用し保全を支援していく。	
課長コメント	市内に残された貴重な樹木等を保存するために、樹木医を活用して積極的に保全を進めていきたい。

## 5. 事業展開の経緯

	平成17年度事業分	平成18年度事業分	平成19年度事業分
進捗状況	—	—	①：予定どおり
主な取組と成果			市内に残された貴重な樹木等を保存するために、良好な樹木（49本）・樹林（8ヶ所）・生垣（6ヶ所）に対して奨励金を交付した。また、枯損の危険性がある樹木に対して、樹勢回復の施術を行うことにより、良好な樹木・樹林・生垣が保存された
検証結果	—	—	A：成果があがった
	平成19年度への展開	平成20年度への展開	平成21年度への展開
今後に向けた課題			保全樹等の多くが老木・古木であるため、樹木医等を活用して生育状況の調査と、良好な状態に保つための施術を施す必要がある。また、万が一の倒木等の対応も検討する必要がある。
事業の方向性	—	—	現状の規模で継続
取組方針			保全樹等を指定し補助するだけでなく、長く良好な樹木として保存するために、樹木医を活用し保全を支援していく。
事業区分	—	—	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。